

平成23年度「総会」を開催！



平成23年3月18日(金)、能代河川国道事務所において平成23年度総会が会員16名参加のもと開催されました。この日は、3月11日発生の東日本大震災から1週間と間もない時期でしたが、黒松友の会は、松の剪定により道路環境や景観の美化を目的としたボランティア団体であり、今後も明るい道路環境を保っていくことを目的に、総会を予定通り実施し、来年度の活動等について確認しました。



会長から個人の会員へ表彰



工藤前会長より退任のあいさつ



新会長の佐藤慶悦さん(右)、
新副会長の小林新吉さん
(中央)、齊藤五十二さん(左)
のあいさつ



最後に出席者全員
でパチリ！

平成二十三年度

役員名簿

幹事 会長 副会長 佐藤慶悦(新)
加藤 隆 小松 朗 齊藤五十二(新)
工藤栄三郎 小林新吉(新)

(全十八名)

渡部邦子(新) 設楽甲一 大山正雄 小嶋康太郎 近藤敏夫 須藤清金 蓬田正子 進藤満正 金谷一成 大高一成 阿波野俊孝 加藤祐悦

会長就任のあいさつ



さとう けいえつ
佐藤 慶悦

先般の総会で会長に選出されました、佐藤慶悦です。

3月初旬頃、事務局、工藤前会長より連絡あり、冬になってから気力・体力が落ち健康的にも有余する必要があり、もう1年会長として続けられる状態ではないため会長をお願いできいかとのことでした。私も唐突であったので即答はできませんでした。

総会まで時間がなかった為、後日、前会長、副会長、事務局で話し合い、まだまだ有能な方、相応しい方がおりましたが、結果的に私になりました。時間があれば幹事会等で話し合い、じっくり検討できればよかったです。以上が会長交代までの経緯です。

私も会長になった以上は微力ではありますが一生懸命努めたいと思います。歴代の会長が頑張って育て上げ、会員も107名と大所帯となり責任重大です。活動も黒松の剪定ばかりでなく地域のイベント参画等多岐になってきました。私は原点に戻り、松の剪定を第一にし、地域イベントへの参画は、会の身のだけにあった範囲でやりたいと思っております。

皆様の意見を尊重してやりますので、御支援、御協力よろしくお願ひ申し上げます。

副会長就任のあいさつ



こばやし しんきち
小林 新吉

このたびの役員改選にあたり、副会長という重任を負うことになりました。

会員の皆さんに何かとお世話になりますが、皆さまのご協力をいただきまして、会の発展に努めてまいりたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。



さいとう いそじ
齊藤 五十二

能代バイパス黒松友の会剪定講習会で学んだ知識や大先輩たちからご指導いただいたノウハウを頭の片隅に置き、自分の感性に任せて仕上げた剪定結果をまんざらでもないと納得するか、他のオーナーの方々のすばらしい剪定技術に脱帽するかは歴然としているが、参考にすべきところは大いに学び今後の活動に役立てたいと頑張っているところであります。

ともあれ、本会の副会長として会長を補佐し、様々な活動が円滑に進捗するよう、全面的に協力して参りたいと考えておりますのでよろしくお願ひします。

昨年度の活動アルバム

春・秋の「剪定講習会」・「合同剪定会」

平成22年度も、黒松友の会が管理する152本の黒松を会員だけが等なく無事に剪定しました。



レクリエーション・新年会

一年の剪定作業が終わり、秋のレクリエーション、1月の新年会で会員同士の親睦をはかりました。



能代バイパス黒松友の会「総会」

総会では、昨年の活動報告、新年度の活動計画の確認のほか、活発な質疑応答がなされました。



のしろ白神ネットワーク行事への参加

まち灯り（夏）では会員が製作した「田楽」と「べらぼう凧」を設置し、お祭りを彩りました。





会長退任のあいさつ

四代会長 工藤 昭男

春風もいまだ寒く、しかし草花は時々見せる太陽の日に色鮮やかに咲いています。

黒松友の会会員の皆様、お元気ですか？

私、昨年の12月中旬に体調が悪くなり、吐き気がして、特に御飯前に吐き気がするようになり全部吐いて体重は5kg落ちました。体力がなく仕事をする気もなく無気力状態になりました。これは変だと思い30年くらい前から高血圧でかかりつけの病院に行き診察してもらいました。その結果、特に悪い所は見あたらず、ただ気候の関係によるものかもしれない、軽い運動をした方が良い、歩く運動の方が良いでしょうとの事でした。

それからアリナスへ行って歩く運動をしました。始めは30分くらい約2km、体が慣れた頃から1時間約4km以上少々汗をかいています。

1月中旬頃、体調は少々ですが良くなつたような気がしました。2月下旬頃にまた吐き気をもよおすようになり、このままの状態では良くないと想い、大きい病院で検査してもらった方が良いと思いました。普段よく聞く言葉で「早期発見できて助かった」、あるいは「手遅れだった」、そんな言葉を思い、かかりつけの病院から紹介状を書いてもらって山本組合総合病院の消化器科の胃腸器科の診察を受けました。レントゲン、採血、胃カメラ、透視等、色々検査を受けました。

後日、診断結果を聞きにいきました。

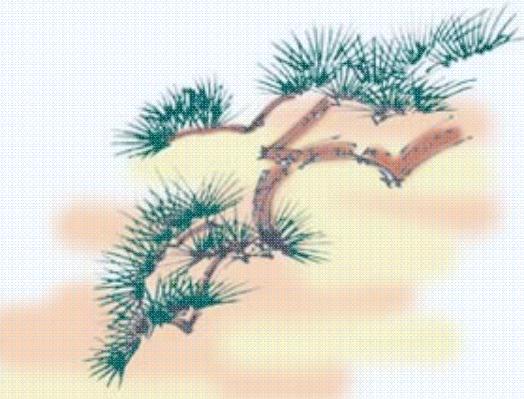
受付して待合所で待っていましたが、なかなか名前が呼ばれず1時間くらい待っていました。その間、色々看護婦さんや先生、また検査技師、白衣を着た方達が診察室への出入りで忙しく感じました。

待っている間色々な事を思い浮かべました。

ガン、入院、手術、家族、孫達・・・。

そうこうしているうちに名前を呼ばされました。診察室へ入って先生の前の椅子に座りました。先生は机に座ってパソコンを操作していて、特に悪いところは見あたらなかった、と伝えられました。ただ、胃から腸へ移るあたりに軽い傷害が見えます、薬を飲めば治ります、軽いストレスからでしょう、との事でした。ホッと安心しました。結果を聞くまでの何日間は大変不安でした。今は投薬によって食欲もあり、体重も少し増えてきました。診察してくださった先生からはストレスと運動不足による軽い神経障害ですと言われました。軽い運動と散歩、体調に合わせた軽作業（趣味）等やれば自然によくなるよ、あまり気にしない方が良いでしょう、との事でした。

先生の話では、3月20日過ぎから貴方のような患者が増えていて、東日本大震災、福島の原発事故や余震による精神不安定のためかなと思われる、との事でした。



それにもテレビで見る限りですが、大変な災害です。以前、日本海中部地震の時、私は臨海工業地帯のある工場に勤務していて、昼休み中昼食をとっていた時地震がありました。昼食後、工場に被害がないか見回ってから防波堤に行きました。そうしたら沖の方、約5km～6kmぐらいだろうか、海が壁のように盛り上がって押し寄せてくるかのように見えました。能代火力発電所建設設計画があって、防波堤の建設が行われていました。その作業員が津波に呑み込まれました。

私はすぐに工場にもどり、従業員が昼休み中の所へ津波がくるぞと知らせ、逃げろと言いました。

ところが工場の東側にある水路船着き場に津波が押し寄せてきて、側堤の高さより20cm～30cmぐらい高い波が押しよせ、その先は止まっているので帰り波になって係留してある小型漁船が転覆して流されて行きました。下浜町、清助町、下川反町、材木町、建設庁舎等はまだ水が引いておらず、道路には流木、丸太が横たわっていて通れないとの情報が入り、しばらくの間様子を見てから自宅へ帰る事になりました。

その後、従業員からは大事ない、棚から物品が落下した程度でしたとの事でした。それから毎日のように海に投げ出された行方不明者の搜索でヘリコプターやセスナ機10機以上、火力発電所を中心とした上空からの搜索が1ヶ月ぐらい続きました。

私は4月から犬の散歩をかねて落合海岸の防潮堤を歩いたり、風のある日は松林（砂防林、防風林）の中を約1時間以上歩いています。松林の中で見つけたボードに日本海中部地震の時、津波の到達した場所と書いてありました。

東日本大震災をうけ、思えばこの黒松によって能代市や山本町、三種町等が守られているんだとつくづく感じました。

黒松にはすごい力があると思います。私たち黒松友の会、そして会員の皆さんを誇りに思います。

会員の皆さんのが里親になって手入れしている黒松も、そろそろ新芽みどりが出てきています。

そのうちに剪定講習会が開かれる事と思いますが、できるだけ多くの方が参加され、また会員以外の方にも声をかける等して、おおいに勉強して剪定会に備えたいものです。私も微力ながら、体調の許す限り協力したいと思っています。

これからは新会長の佐藤慶悦さんを中心に、新副会長、新幹事の皆さん、そしてこれまでのベテラン会員の皆さん、心機一転お互いに話し合いをされて、目標を作り、黒松友の会の前進発展を願っています。またのしろ白神ネットワークはグループの一員になっているので長い付き合いを心がけたらよいと思います。良い勉強になると思います。

これからは一員として体調に合わせて参加させていただきたいと思っています。4代目会長として3年間ご協力いただき、お世話になりました。

本当にありがとうございました。



工藤さん、3年間会長としてご尽力いただき、大変お疲れさまでした！今後も体調に留意され、会の活動をもりたてていただければ幸いです。

（事務局）

投 稿

幻の初日の出

小林 新吉



～このたびの大地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
元気で綺麗な街・綺麗な海の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。～

息子も都会の生活にしつかり慣れ染まり、孫も成長して、近年は正月もお盆も田舎に来る事がほとんどなくなった。小さかった頃はお小遣い欲しさに孫達だけで汽車に乗って顔を見せに来てくれたのもつい最近の事のように思える。心待ちにしていた老夫婦もあきらめて自分達から都会に飛び込んでいくのは結構勇気がいるものだ。息子夫婦が、故郷には戻らないからこちらで一緒に生活をしよう、という事で1週間程一緒に生活してみたが、遊びには事かかないが、家にいる時は周りの雑音と建物に圧迫されて息苦しい感に堪えられない。以前、仕事で江戸川や市川に住んでいた頃には気にする事はなかったのに、年のせいなのか。それとも軒下の雑草や見渡すかぎりの緑の自然が年寄りの足を引き止めているのだろうか。

正月近くになると車の運転が出来ない息子と一緒に正月を迎えようと誘いがくる。一度も行くことがないので、息子等が温泉旅行を勧めてくれた。昨年は親父が遠くまで車じゃ危ないからと、男鹿湯本温泉を大晦日から2泊3日でインターネットで探してプレゼントしてくれた。元日は大荒れで、入道崎は土産店が1軒だけ開いていた。ところが客は1人も入っていない。店の人は「私の店だけは毎年開いていますよ。いつでも来たら寄ってね」と言ひながらコーヒーを出してくれた。何だか寂しかった。

真山神社に参拝の後だったので、お昼の食事をご馳走になり、サービスが良くコーヒーが何度も出了。「コーヒーは何杯でもお代わりして。お客様がいないので風も強いし今日はゆっくりしていいて。」と親切にお店の人が言ってくれた。

大桟橋道は強風で通る車も少なく100m以上もある下の海から吹き上げる潮風で、道端の萱草に氷柱の芸術が寂しさを慰めてくれた。



～男鹿・大桟橋道の「氷柱」～

今年は箱根駅伝を見たいと思い2ヶ月前にホテルを探したが私たちに沿うような所がなく、岩手県宮古市へ初日の出を拝もうと浄土ヶ浜パークホテルを大晦日から2泊3日で予約が取れた。正月近くになって天候悪化が続いて、タイヤチェーン等も準備した。31日は降雪の予報の為に早朝能代を出発、十和田南インターから東北自動車道→八戸道に乗る。それには一つの理由があった。

盛岡から宮古市に行くには106号線の区界峠を通る事になる。雪の峠越えは事故を想定しないといけないので海岸の道を選ぶ事にした。早朝の高速道は意外と空いているので、気持ちよく走る事ができた。軽米から久慈市へ45号線を走る事に決める。時々吹雪に見まわれたが車で走るのに影響はなかった。

久慈市に入って時間に余裕があるので、朝食を取るのに開いている店が分からずタクシーの運転手に聞いたら「それ、そこ」と目の前の店を教えてくれた。「こんなものよ、知らない街では」と妻と笑いながら朝食を取った。たっぷり時間に余裕がある。海岸に寄ってみる事にして、普代から黒崎→北山崎田老の真崎は、凄く冷たい強風が吹き荒れていた。折角来たのだからカメラを、と手に取ってみると冷たい雨風でとてもカメラどころでなかった。また暖かくなったらゆっくり来ようと、漁港から国道に向かう高台の道に潮風と共に舞ってくる。

初日の出は幻に終わった。

ホテルから浄土ヶ浜へ行こうと思い外に出ると、ホテルの人が「危険なので今日は控えた方がいい」と促す。「はい」と返事をして小降りの雨の中へ出ていく。私の車はホテルから少し離れた駐車場にあった。車からカッパを出して着替え、カメラを背負って近道である山道の階段を下り、浄土ヶ浜一方通行ののぼり線に出る。浜は猛烈な強風と波で駐車場と観光客の見学場所が波に洗われ砂利場と化していた。

観光案内の人や売店の人達が、来てくれるお客様の為に海際の道や周りをパトロールしていた。大波が近づくと大声をあげて逃げる。「冬の海は荒いが、島に打つ波や引く波の音も良いけれど、今日は行けないよ、危険だから海際には近寄らないように」と注意される。

期待の初日の出も拝むことができなかつたので、今度花見を兼ねてまた来ようと妻に約束をして宮古をあとにした。帰りは盛岡へ国道106号線を通る。大晦日、元日の大雪で電線や電話線が倒木の被害で、通行規制があつて時間がかかった。

平泉にも二泊三日で、毛越寺と中尊寺を見学、参拝する。3月という月は私の79歳の誕生月でもあり、私の生まれた昭和7年は大飢饉の年で学校最後の高等2年に終戦と記念の時に忘れる事のできない出来事がついてくる。

悔しいことよ。

【晴天時の浄土ヶ浜】



今年元旦の「浄土ヶ浜」
～冷たい強風が吹き荒れる～



浅内方面の剪定有志を募集！ (有志一同より)

黒松ハウスから浅内交差点(能代南IC)区間の松について、昨年から有志の方が一部剪定をしています。

「実践で腕を磨きたい！」、「伸び放題(?)の松を整えてみたい！」など、有志で剪定を希望される方は下記までお問合せの上、作業日程等をご確認ください。

[問合せ先] 佐藤 慶悦 090-4636-5860



「スギ灯り」の灯りが各種行事を盛り上げました！



黒松会員の方々が以前製作した、べらぼう凧やきれいな和紙を貼り付けたスギ灯りが、「旧二小の桜ライトアップ」や「嫁見祭り」で人々の目を楽しませてくれました。

5/16 嫁見祭り
(日吉神社)



- ◇
- ◇
- ◇
- ◇
- ◇

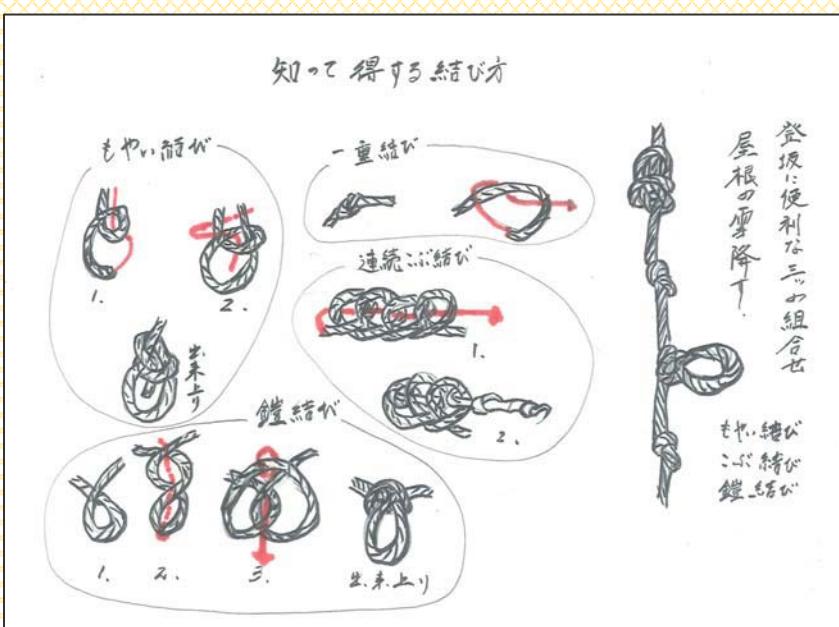


4/29～5/1
桜ライトアップ
(旧二小)



●知って得する結び方●

小林新吉さんからの紹介!
日常生活はもうん、山登りなどにも便利です。



編集後記

◆今回の会報へ原稿をお寄せいただいた皆様、ありがとうございました！
◆毎年、きれいに剪定し終わった黒松街道を通るのはとても気持ちが良いです。震災で日本中が大変な時期ですが、皆さんの活動がこの能代を明るくし、道路利用者をすがすがしい気持ちにさせてくれます。心をひとつに、今年もがんばりましょう！
(事務局)